

令和7年5月30日

報道機関 各位

(株)サントエナジーうえだの資金調達に伴い 「脱炭素先行地域」事業が本格スタートします

上田市が過半数の株式を保有する株式会社サントエナジーうえだ（代表取締役社長 小相澤 隆幸）では、この度、株式会社三井住友銀行（頭取CEO 福留 朗裕）をはじめとする金融機関から、シンジケートローンによる約21億円の資金調達を実施いたしました。

これにより、対象エリアにおける太陽光発電設備導入など同社の各種サービスが順次スタートし、脱炭素先行地域計画「ゼロカーボン×交通まちづくり」の取組が本格化してまいります。

〇背景・経過

上田市では、2050年までにCO2排出量を実質ゼロとするゼロカーボンシティうえだの実現に向けた施策の一環として、令和6年7月に(株)サントエナジーうえだを設立しました。

同社は、上田市が環境省から選定を受けた脱炭素先行地域の事業計画に基づき、対象エリア内の住宅等の施設やため池等に太陽光発電設備、蓄電池等の再生可能エネルギー関連設備を設置するほか、自営線による上田電鉄別所線への電力供給事業に取り組むこととしており、計画の具体化や対象地域住民への説明、事業計画・収支計画の検証を行い、金融機関との協議を経て、この度事業に必要な資金調達の実施に至りました。

〇脱炭素先行地域計画「ゼロカーボン×交通まちづくり」の主な取組

◆上田電鉄別所線沿線の対象エリア内の住宅等に太陽光発電設備・蓄電池等を導入するとともに、その余剰電力と、ため池等遊休地に設置した太陽光発電電力等を大型蓄電池でマネジメントして供給することで、民生部門電力の脱炭素化を推進。

◆鉄道用送電設備を活用した自営線マイクログリッドを構築。平時は上田電鉄別所線に地域の再エネ電力を供給し、別所線のゼロカーボン運行と災害レジリエンス強化を図る。

◆沿線自治会に別所線利用促進策及び移動利便性向上策を同時展開し、別所線の利用者増と維持活性化を図る。

(参考：www.city.ueda.nagano.jp/soshiki/seikan/89115.html)

〇株式会社サントエナジーうえだの概要

代表者	代表取締役社長 小相澤 隆幸（上田市副市長）
資本金	1,990万円
主な事業内容	PPA事業、電力小売事業、リース事業など

詳細は
Webへ
⇒



www.suntoenergy.co.jp

〇シンジケートローン*の概要

融資枠	設備資金：18.86億円 運転資金：3.00億円
契約日	令和7年5月30日
アレンジャー兼 エージェント	株式会社三井住友銀行

*幹事金融機関（アレンジャー・エージェント）のとりまとめの下、複数の金融機関が同一の契約に基づき貸付を行う融資形態